

内容確認	公開・非公開の	〈開催日〉令和4年10月6日(木)	〈傍聴人数〉0名
石田会長	別	〈時間〉14:00~15:00	〈傍聴室〉
承認	公開	〈場所〉岸和田市役所 4階 議会会議室	岸和田市役所 4階 議会会議室

〈名称〉令和4年度第1回岸和田市国民健康保険運営協議会

〈出席者〉委員20名中19名 ○は出席、■は欠席

笠松	田中	泉本	米本	田中秀	壽田	高松	浦田	渡邊	木村
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金本	炭谷	石田	坂西	井尻	田中伸	山中	上野	羽室	山内
■	○	○	○	○	○	○	○	○	○

〈事務局〉保健部：山本部長

健康保険課：片山課長、岡田調整参事、宇野滞納整理担当主幹、新内保健給付担当主幹、高井資格賦課担当長、高木資格賦課担当長、藤原収納担当長

〈議題〉

- 1 令和3年度 国民健康保険事業特別会計決算について
(資料1)
- 2 令和4年度 国民健康保険事業特別会計予算概要について
(資料2)
- 3 令和4年度 岸和田市国民健康保険個別保健事業実施計画について
(資料3、3-1、3-2、3-3)
- 4 その他
(資料4)

〈会議内容〉

■議題1について、資料に基づき事務局から説明。

■意見・質疑
なし

■議題2について、資料に基づき事務局から説明。

■意見・質疑

【委員】

傷病手当金に関してだが、任意給付でもあり、ほとんどの市町村国保では実施していないのではないかと。岸和田市では、国保財政が黒字になったことにより、実施したのか。

【事務局】

傷病手当金は委員ご指摘のとおり、任意給付であり、保険者の財政上余裕がある場合に行うものとされ、国民健康保険ではこの間実施していなかった。今回実施している傷病手当金はコロナウイルス感染症対策として、国から助成を受けることが可能となり、その助成基準に沿った内容で支給している。大阪府内の全市町村でも同様の内容で給付金を支給しており、その内容としては、対象は給料の支払いを受けている方で、過去3か月間の収入から日当を算出し、その3分の2の額を支給している。

【委員】

(今回の傷病手当金は) コロナ対策の特別措置ということか。

【事務局】

その通りである。

■議題3について、資料に基づき事務局から説明。

■意見・質疑

【委員】

私の勘違いかもしれないが、特定健診が開始された時には、通院中の方は基本的に特定健診の対象外となっていたと認識していたが、先程の事務局からの説明で特定健診の対象であることが判明した。これは、最近になって方針を変更したのか、あるいは以前から変更されていたのか。

【事務局】

制度開始当初は、委員のご指摘の通り、通院中の方は特定健診の対象外であると国からも通知があった。その後、具体的な時期は不明だが、数年前から通院中の方も（特定健診の）対象とするよう国からの通知も変更されている。

【委員】

糖尿病性腎症重症化予防事業に関する評価目標について、事務局から、「人工透析患者有病率」が令和2年度の時点で、大阪府平均を下回る結果となり、目標を達成したとの説明があった。糖尿病の悪化から透析が必要となった方は、多額の医療費負担がのしかかることを考えると、目標達成という今回の結果に関しては素晴らしいと思う。ただ、糖尿病が悪化して透析が必要となるまでには、ある程度の時間がかかるので、この事業の実施年数から鑑みて、事業の効果に対して疑問を持つ方もいると考えられる。そのため、目標値を達成したということに留まらず、第三者による事業効果の判定等の取組を実施してみてはどうか。

【事務局】

今回、人工透析患者有病率に関して、大阪府平均値を下回るという目標を達成したが、そもそも大阪府は人工透析患者数が多いこともあり、今後は目標値の設定自体の変更も必要ではないかと考える。また、高齢化の進展に伴い、（75歳以上である）後期高齢者医療被保険者が人工透析を開始するケースも増加している。国保と後期高齢者医療保険は、地続きでもあるので、後期高齢者医療被保険者の人工透析患者数も評価の対象に含めるなど、今後の事業の評価目標についても変更を検討している。

【委員】

特定健診をより多くの方に受診してもらうためには、被保険者の方への訴求方法（特定健診受診率の向上により、医療費の適正化を図ることも可能となり、引いては、国保財政にも寄与する等）を改めて検討すべきではないか。

【事務局】

現在、特定健診受診勧奨に際しては、病気を未然に防ぐため等と案内しているが、今後委員ご指摘の点なども勘案していきたい。

【委員】

特定健診に関してだが、岸和田市は受診率が低い。健診を受診しない方の理由として、現在通院中で健診の必要性を認識していないのか、もしくは疾病に対する意識が希薄なためなのか。その理由によって（対策も）大きく異なると思われるが、判断する方法等はあるのか。

【事務局】

特定健診未受診の方に対して、実施したアンケート結果によると、受診しない理由として、「通院中のため」もしくは「忙しい」「時間がない」「（現在）健康だから」とのいずれの回答も多く寄せられていた。

■議題4 その他事項（マイナンバーカードの保険証登録状況等）について、資料に基づき事務局から説明。

■意見・質疑

【委員】

マイナンバーカードの保険証登録がなかなか進んでいないように思われるが、被保険者にとっては、（手続きが）面倒だとの理由なのか。

【事務局】

保険証登録が進まない理由としては、現時点では、まだ対応可能な医療機関が少ないことが大きいのではないかと。国民健康保険でも一部の方しか保険証登録をされていない現状であるが、対応可能な医療機関が増加すれば、保険証登録も進むのではないかと見込んでいる。

【委員】

国保でもまだ一部の方しか保険証登録をしていないとのことだが、その原因をどのように捉えているのか。

【事務局】

先程述べたように、対応可能な医療機関がまだ少ないことも理由の一つとして挙げられる。また、高齢者の中には、マイナンバーカードを持ち歩くことに対して、不安を抱えている方もいると聞き及んでいる。（そうした不安を打ち消すためにも）マイナンバーカードの利便性等を、国がより広く国民にアピールしていくことも必要ではないかと考えている。

【委員】

私個人の意見としては、マイナンバーカード制度に対する不信感を持つ方も多いため、申請も進んでいないのではないかと思っている。

【委員】

最近、带状疱疹のワクチン接種が、テレビ等でPRされているのを目にする機会が多い。ただ、ワクチン接種に係る費用が高額であり、自治体によっては費用を助成している場合もあるが、岸和田市ではどうなのか？

【事務局】

带状疱疹は予防接種法に規定された疾病ではないので、その費用負担については各自治体が任意で行っており、岸和田市では健康推進課が担当となるが、実施していないと聞き及んでいる。

■会長より挨拶及び御礼